
SWX2300 Rev. 2. 00. 14 からの変更点

■機能追加

[1] Web GUI から以下の設定を行えるようにした。

- インターフェース設定
- ルーティング
- DNS クライアント
- 各種サーバの設定

■仕様変更

[1] YNO マネージャー経由で Web GUI の管理の[保守]-[ファームウェアの更新]にアクセスしたとき、「PC からファームウェアを更新」を行えないようにした。

[2] カーネルログ出力機能を削除した。

[3] Web GUI のメニュー構成を変更した。

■バグ修正

[1] SWX2300-8G で、CONFIG スイッチ #1 が ON にもかかわらず config1 で起動することがあるバグを修正した。

本バグは YSFP-G-SXA/LXA を挿入して起動したときに発生する。

[2] 通信速度が異なるポート間の通信でパケットドロップが発生しやすいバグを修正した。

[3] スパニングツリーで、スタティック論理インターフェースに MST インスタンスを割り当てていると、所属している LAN/SFP ポートの一部で通信ができなくなることがあるバグを修正した。

[4] HTTP サーバーが HTTP レスポンスを返すとき、レスポンスヘッダを二重で送信してしまうことがあるバグを修正した。

- [5] MAC 認証で、対応していない認証形式の Access-Challenge を RADIUS サーバーから受信したとき、不正な Access-Request を送信してしまうバグを修正した。
- [6] L2MS スレーブとして動作しているとき、L2MS マスターから CONFIG の保存を繰り返し実行されるとメモリーリークが発生するバグを修正した。
- [7] ntpdate server コマンドで不正なホスト名を設定できてしまうバグを修正した。
- [8] VLAN 名に特定の文字列が含まれているとき、Web GUI の以下のページで VLAN 名が正しく表示されないバグを修正した。
- 詳細設定の [VLAN]-[タグ VLAN]-[タグ VLAN の設定]
 - 詳細設定の [VLAN]-[タグ VLAN]-[タグ VLAN の設定]-[VLAN の選択]
 - 詳細設定の [VLAN]-[MAC アドレステーブル]-[スタティック MAC アドレスの設定]
-

以上